

第56号（2023-1） 2023年7月20日

大学評価学会通信

目次

◆第20回全国大会報告	1
◆第20回年次総会報告	2
◆理事会報告	7
◆第8回田中昌人記念学会賞	8
◆研究会の開催について	9
◆年報第20号への投稿募集	9
◆第21回全国大会について	10
◆第9期理事の選出について	11

第20回全国大会を開催しました

3月4日（土）、5日（日）の2日間、第20回全国大会を開催しました。第19回全国大会と同様、対面とオンラインを併用しての開催でした。当初予定していた研究棟が停電のため、急遽会場を変更することになり、対面参加の方々には迷惑をおかけしましたが、無事に開催できました。初日（4日）は自由研究（口頭発表）、会員総会、大会シンポジウムが、2日目（6日）は、課題研究（Ⅰ、Ⅱ）が開催されました。

初日の午前中の自由研究（口頭発表）では、以下の4つの報告がありました（司会是水谷勇。敬称略、以下同じ）。

渡部 昭男、渡部（君和田）容子「自治体における義務教育後の高校・大学等に係る修学支援施策：鳥取県・滋賀県・大阪府調査から」

小池 由美子「観点別評価と学力の形成課題」

西垣 順子「地域とともに育つためのフリースクール評価の可能性」

横山 岳紀「ドイツにおける大学改革と財政自治」

大会シンポジウムは「大学の自律と『大学人像』」をテーマにして開催しました（司会は、細川孝）。以下の2報告を踏まえて、議論が行われました。

村澤 昌崇（大学自治の現状：データから検証する）は、大学にとっての永遠の課題でもあり、近年の政策展開により改めて問い直されている「大学の自律性」「大学の自治」「学問の自由」「専門職としての大学教員」等の問題に、データ分析により切り込まれました。続いて、菊池 芳明（大学の自律と事務職員－メンバーシップ型の課題と超克－）は、2000年代の高等教育政策における事務職員の位置づけに考察されました。

2日目は午前中に課題研究Ⅰ（教職協働：大学職員の内発性に基づく役割モデルの再構築に向けた国際比較研究＜2＞、座長：深野 政之）、午後に課題研究Ⅱ（学び・大学・社会に対する学生の要求・運動・表現と青年期の発達保障（学ぶ権利の実質を保障しうる大学評価のあり方を探る＜3＞）、座長：西垣 順子）が開催されました。

（文責：大会実行委員長 松下 尚史）

大学評価学会 第20回年次総会

2023年3月4日（土）13:30～ オンライン併用

1. 議長選出（理事：水谷、会員：伊藤）
2. 第8期顧問の了解 池内了・井上千一・植田健男・碓井敏正・蔵原清人・広渡清吾・細井克彦
朴木佳緒留・三輪定宣・山本健慈・渡部昭男の各氏（計11名）
3. 2022会計年度活動総括について
〈学会年報〉
 - ・第18号の発刊（2022年8月）／第19号の編集〈シリーズ本〉
 - ・シリーズ本第9巻を、企画内容を変更して新たに作成中〈研究会活動〉
 - ・第62回研究会 2022年9月8日（Zoomによるオンライン開催）
〈午前〉「学校法人ガバナンス改革と評議員会の機能」（報告：伊藤彰浩会員、コメント：堀雅晴会員）
〈午後〉報告1：集大成としての私立大学の創造的再建（山本健慈）
報告2：国際卓越研究大学と大学評価の課題（光本滋）
 - ・第63回研究会 2022年12月11日（キャンパスプラザ京都+Zoomによるハイブリッド開催）
報告1：川口洋誉「貧困世帯の子どもへの学修支援と新自由主義教育政策」
報告2：白波瀬正人「通信制課程で学ぶ高校生の現状と課題—中途退学者数等の状況からの一考察」〈課題研究・委員会等の活動〉
 - ・「教職協働」部会の活動実績を基盤とした科研費（C）（代表：深野／2018-20, 2021-23）により、MLを通じた情報交換、独自WEBサイトによる情報発信。コロナ禍により海外調査ができないため理論研究に注力している。
 - ・「青年の発達保障」委員会（2016.5.発足／世話人：西垣・川口）について、MLを通じて情報交換。シリーズ本第9巻を「大学評価と青年の発達保障」をテーマにした第7巻の第2弾として企画。〈学会通信〉
 - ・年2回発行：第54号（2022年7月）、第55号（2023年1月）〈理事会〉すべてZoomによるオンライン開催

第8期第4回理事会2022年3月1日、第5回理事会（8/27；Zoomによるオンライン開催）、第6回理事会（12/11；キャンパスプラザ+Zoomによるハイブリッド開催）

〈会員現況〉
会員数：145 [内訳 会員：139 協会員：6（団体会員1を含む）]
〈日本学術会議／教育関連学会連絡協議会〉

 - ・教育関連学会連絡協議会第10回総会に参加（日永共同副代表）

- 4. 2022会計年度決算および監査報告【総会参考資料】
- 5. 2023会計年度活動方針について【総会参考資料】
- 6. 2023会計年度予算について【総会参考資料】
- 7. 第9期理事選出管理委員の選出について
- 8. 第21回全国大会について
 - ・早稲田大学 2024年3月2日（土）-3日（日）（委員長・岡山茂 共同代表）を予定

2022年度決算案（2022年2月26日～2023年2月15日¹⁾）

【一般会計】

	2022 年度予算	2022 年度決算	内容
前期繰越金	1,416,674	1,416,674	
会 費	690,000	570,000	
2022 年度会費	600,000	570,000	過年度会費を含む
過年度会費	90,000		
年報販売売上 ²⁾	100,000	98,400	
雑収入	1,000	0	
＜収入合計＞	2,207,674	2,085,074	
全国大会（第 19 回）	150,000	149,307	
開催補助（特別会計へ）	120,000	120,000	
予稿集印刷	0	0	
大会案内印刷・送付費	30,000	29,307	予稿集送付料含む
年 報（第 18 号）	425,000	376,969	
編集・印刷費	400,000	360,976	印刷費 30.8 万円他
送付費（封筒等含む）	25,000	15,993	
学会通信（年 2 回）	100,000	74,773	
印刷費	60,000	43,615	
送付費（封筒等含む）	40,000	31,158	
研究例会（年 2 回）	50,000	0	
会場費他	45,000	0	
湯茶等	5,000	0	
理事会会議費	100,000	0	
事務費・事務用品費 ³⁾	30,000	17,120	
支払手数料	20,000	13,923	郵便振替手数料
委託費	10,000	0	
会費	10,000	10,000	教育関連学会連協
予備費 ⁴⁾	100,000	85,574	20 回大会予稿集他
＜支出合計＞	995,000	727,666	
＜次期繰越金＞	1,212,674	1,357,408	

注 1) 理事会の承認を得て 2023 年 2 月 15 日付で決算を行っている。

2) 晃洋書房への販売委託に関する収入は、86,400 円である。

3) 事務費・事務用品費には、通信費（12,235 円）を含んでいる。

4) 第 20 回大会の予稿集を事前に全会員に送付するため、予備費から支出した。

5) 第 20 回大会の予稿集の送付費用は未払いである。

【全国大会 特別会計】

	2022 年度予算	2022 年度決算
前期大会繰越金	271,277	271,277
全国大会（第 19 回大会）	0	0
開催補助（一般会計から）	120,000	120,000
参加費	0	0
雑収入	15,000	15,000
＜収入合計＞	426,277	426,277
会場費	0	0
講師等謝金・旅費	35,000	35,000
アルバイト代	0	0
諸雑費	100,000	108,680
予備費	10,000	0
＜支出合計＞	145,000	143,680
＜次期大会・繰越金＞	281,277	282,597

注：諸雑費は、ハイブリッド開催に関する外部委託の費用である。

【シリーズ本 特別会計】

	2022 年度予算	2022 年度決算
前期繰越金	137,929	137,929
シリーズ本売り上げ	49,500	0
第 8 号：学会売上	4,500	0
同：晃洋書房還元	0	0
第 9 号：学会売上	45,000	0
同：晃洋書房還元	0	0
雑収入	10,000	25,520
＜収入合計＞	197,429	163,449
シリーズ本・継続企画	310,000	0
編集・印刷費	300,000	0
送料	10,000	0
予備費	10,000	0
＜支出合計＞	320,000	0
＜次期繰越金＞	122,571	163,449

※雑収入は、第 4 巻（PDCA サイクル）のテキスト使用に係るものである。

【貸借対照表（2023 年 2 月 15 日現在）】

資産		負債	
現金	40,441	次期繰越金	1,803,454
郵便振替口座	1,763,013		
合計	1,803,454	合計	1,803,454

2023年度予算案（2023年2月16日～2024年2月29日）

【一般会計】

	2023年度予算	2022年度決算	2022年度予算
前期繰越金	1,357,408	1,416,674	1,416,674
会費 1)	600,000	570,000	690,000
2023年度会費	510,000	570,000	600,000
過年度会費	90,000		90,000
年報販売売上	100,000	98,400	100,000
雑収入	1,000	0	1,000
＜収入合計＞	2,058,408	2,085,074	2,207,674
全国大会（第20回大会）	120,000	149,307	150,000
開催補助（特別会計へ）	70,000	120,000	120,000
予稿集印刷 2)	0	0	0
大会案内印刷・送付費（21大会）	50,000	29,307	30,000
年報（第19号）	425,000	376,969	425,000
編集・印刷費	400,000	360,976	400,000
送付費（封筒等含む）	25,000	15,993	25,000
学会通信（年2回）	100,000	74,773	100,000
印刷費	60,000	43,615	60,000
送付費（封筒等含む） 3)	40,000	31,158	40,000
研究例会（年2回）	41,000	0	50,000
会場費他	40,000	0	45,000
湯茶等	1,000	0	5,000
理事会会議費	50,000	0	100,000
事務費・事務用品費 4)	30,000	17,120	30,000
支払手数料	20,000	13,923	20,000
委託費	10,000	0	10,000
会費（教育関連学会連絡協議会）	10,000	10,000	10,000
予備費	120,000	85,574	100,000
＜支出合計＞	926,000	727,666	995,000
＜次期繰越金＞	1,132,408	1,357,408	1,212,674

- 注 1) 2023年度会費は、@6,000×70人、@3,000×30人で算出した。過年度会費は、@6,000×10人、@3,000×10人で算出した。2023年3月現在の会員数は145人（うち協力会員は6人）である。
- 2) 第20回大会の予稿集に係る費用は、2022年度に支出済みである。
- 3) 事務費・事務用品費には、通信費、学会ホームページのサーバー契約などを含む。
- 4) 予備費は、第21回大会の予稿集に係る費用を含んで計上している。

【全国大会 特別会計】

	2023 年度予算	2022 年度決算	2022 年度予算
前期大会繰越金	282,597	271,277	271,277
全国大会（第 20 回大会）	0	0	0
開催補助（一般会計から）	70,000	120,000	120,000
参加費	0	0	0
雑収入	0	15,000	15,000
＜収入合計＞	352,597	426,277	426,277
会場費	0	0	0
講師等謝金・旅費	65,000	35,000	35,000
アルバイト代	0	0	0
諸雑費	10,000	108,680	100,000
予備費	20,000	0	10,000
＜支出合計＞	95,000	143,680	145,000
＜次期大会・繰越金＞	257,597	282,597	281,277

注 1) 講師等謝金・旅費は、シンポジウムに係る謝金・交通費と課題研究分科会の交通費（2 人分）を含んでいる。

【シリーズ本 特別会計】

	2023 年度予算	2022 年度決算	2022 年度予算
前期繰越金	163,449	137,929	137,929
シリーズ本売上	48,000	0	49,500
第 8 号：学会売上 1)	3,000	0	4,500
同：晃洋書房還元	0	0	0
第 9 号：学会売上 2)	45,000	0	45,000
同：晃洋書房還元	0	0	0
雑収入 3)	10,000	25,520	10,000
＜収入合計＞	221,449	163,449	197,429
シリーズ本・継続企画	310,000	0	310,000
編集・印刷費	300,000	0	300,000
送料	10,000	0	10,000
予備費	10,000	0	10,000
＜支出合計＞	320,000	0	320,000
＜次期繰越金＞	△ 98,551	163,449	△ 122,571

注 1) 第 8 号の学会売上は、2 部（頒価@1,500）を見込んだ。
 2) 第 9 号（新企画）の学会売上は、30 部（頒価@1,500）を見込んだ。
 3) 雑収入は、第 7 号までの販売を見込んだ。

2023 年 2 月 26 日

監査報告書

大学評価学会 御中

大学評価学会の 2022 年度（2022 年 2 月 26 日～2023 年 2 月 15 日）決算について本日、監査いたしました。帳簿、証拠はすべて正確に処理されていることを認めます。
 なお、引き続き、学会費の徴収に格段の努力をいただきますようお願いいたします。

以上

会計監査人 垂髪あかり (印)
 会計監査人 川野 浩八 (印)

理 事 会 報 告

第Ⅷ期第7回理事会

日 時：2023年2月26日（火） 15時～

場 所：Zoomによるオンライン開催

出席者：岡山、細川、水谷、光本、米津、小池、安東、松下、菊池、村上、藤原、西垣、
小山、伊藤（幹事・オブザーバー）

【報告事項】

1. 学会広報のあり方に関する委員会からの報告
2. 学会年報編集委員会からの報告
3. シリーズ本第9巻の作成状況についての報告
4. 学会通信第55号の発行について
5. 学会事務局からの報告
6. その他
第20回大会の準備状況について

【議 題】

1. 会員の異動について
2. 国会図書館によるウェブサイトの収集・保存に係る許諾について
3. 第20回全国大会の記録について
4. 学会通信第56号の発行について
5. 2022年度決算および2023年度予算について
6. 2023年度活動方針案について
7. 第9期理事選出管理委員会の設置について
8. 第8回田中昌人記念学会賞の選考委員会について
9. 第20回会員総会の議案および運営について
10. 第21回全国大会について

第8回「田中昌人記念学会賞」に係る対象業績等の推薦について

「田中昌人記念学会賞」運営規程(2009年8月)に基づき、以下の要領で対象業績等の推薦を受け付けます。

締 切: 2023年12月25日(月)正午まで

対 象: 1)本学会年報(～第19号)および本学会シリーズ本(～第8巻)の掲載原稿
2)学会以外の出版物およびそこでの掲載原稿

※2)の場合は会員2名以上の推薦者による推薦が必要

推薦方法: 推薦者氏名・所属、推薦年月日、対象業績及び氏名、推薦理由を記した書面を作成し、下記送付先まで電子メールに添付の上お送りください。

そ の 他: 「田中昌人記念学会賞運営規程」および推薦書の記入例は学会ウェブサイト「田中昌人記念学会賞」をご参照ください。

対象業績の推薦を受け、2024年1月以降に選考委員会が選考を行い、同3月開催の第21回全国大会前に開催される理事会での審議を経て、全国大会中に開催される会員総会時に公表する予定です。

【送付先・問合せ】

第8回「田中昌人記念学会賞」選考委員会委員長 日永龍彦（山梨大学）

E-mail : info@aue-web.jp

第64回研究会のご案内

日 時：9月2日（土）13時30分～16時15分

ハイブリッド開催（Zoomによるオンライン開催＋キャンパスプラザ京都）

・新型コロナウイルス等の感染状況によっては、オンラインのみとする場合もありますが、あらかじめご了承ください。

<プログラム>

報 告 1：西川 治（神奈川総合法律事務所）

「学生支援制度の行方ー日本学生支援機構発足20年を目前に（仮）」

報 告 2：市川 治（酪農学園大学名誉教授）

「国民が求める「地域の大学」の課題ー北海道私立大学を対象にー（仮）」

進 行：西垣 順子（大阪公立大学）

★参加には事前申し込みが必要です。こちらの申し込みフォームから、8月31日木曜日までにお申し込みください。9月1日金曜日中に、Zoomアドレスなどをお送りします。

申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/5dnF7iKJkZ>



大学評価学会年報『現代社会と大学評価』第20号への投稿募集

学会年報『現代社会と大学評価』第20号の原稿を募集します。大学評価に関する学術論文、研究ノート、書評、資料紹介などで、未発表のものに限ります。投稿希望者は、8月末日までに、氏名、所属、職名(大学院生の場合は課程、学年など)、住所、電話、Fax、e-mailアドレス、論文・書評などの別、予定のタイトル・枚数を書いて、年報編集委員会（editor@aue-web.jp）までお申し込みください。また、完成原稿は、投稿規定並びに執筆要項を熟読の上11月末日までに年報編集委員会（editor@aue-web.jp）までお送りください。

（文責：水谷 勇）

大学評価学会第21回大会について（第一次案内）

日 程：2024年3月2日（土）～3日（日）

場 所：早稲田大学（早稲田キャンパス）

概 要：自由研究発表、ポスター発表、総会、シンポジウム、課題研究（予定）

※ハイブリッドでの開催を模索しますが、対面のみとなる場合もあります。今後、理事会・大会実行委員会において、実施方法について検討を進め、随時学科ウェブサイトにおいて情報提供を行います。

＜自由研究発表（口頭発表）およびポスター発表の申し込みについて＞

大会期間中、会員の「自由研究発表」・「ポスターセッション」を開催します。会員の皆様にはふるってお申し込みください。申し込み方法の詳細は、大学評価学会年報の発送時に同封の案内もしくは学会ウェブサイトでご確認ください。第21回大会情報を随時更新してまいります。

なお、入会手続きをすれば発表が可能です。非会員の方で発表希望の方は、学会事務局（hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp）までご連絡ください。

【申し込み受付期間】2023年10月1日（日）～11月30日（木）

【想定されるテーマ】大学・学術の果たすべき役割、大学評価や法人経営のあり方、評価書の読み方・読み解き、大学評価・大学教育政策、公立大学問題、センター・附属施設の機能、教職協働の取り組み、FDや学生参画、授業づくりの実践、アクティブ・ラーニング、高大連携・高大接続の現状と課題、学生・青年の発達保障・移行支援、就活・キャリア教育、無償教育の漸進的導入、ジェンダー問題・男女共同参画、多様性と包摂など

【報告要旨集の原稿締め切り】2024年1月31日（火）の予定

【申込先】第20回大会実行委員会事務局 info@aue-web.jp

【シンポジウムのテーマ】「大学を無償に、学生にも年金を」（仮）

マラルメはリセの教員を退職後フォンテーヌブローのヴァルヴァンという村で夏を過ごしました。そこには手つかずの〈自然〉がありました。それは〈書物〉とひとつになっています。そこでの思索と詩作の日々は、同じようにフォンテーヌブローの離宮で夏を過ごしたフランスの王や皇帝のそれよりも自由なものであったかもしれません。こうした自由をすべての学生に保障することはできないのでしょうか。つまり学生にも退職者と同じように年金を支払い、〈自然／書物〉のなかへと自分の脚で入り込こむことを許すのです。財源はあります。マラルメの「文学基金」を参考にして、すべての大学の教員が出版する論文や本の著作権料を積み立てる。あるいは政府や文科省のいう10兆円の「大学基金」をこちらに回す。あるいはさらに税制を変える。経済学者のジョセフ・スティグリッツも、「世界の超富裕層に所得税70%を課せば平等な社会をつくれる」と言っています。大学を無償に、学生にも年金を。

第 10 回 教育関連学会連絡協議会総会について

教育研究に関する学術交流と相互の連帯を目的として2013年に設立された教育学関連学会連絡協議会には現在74の学協会等が加盟しています。2023年3月11日に42団体(委任出席3団体を含む)が参加して11回目の協議会総会がオンラインで開催されました。総会では1.新規の加盟申請(2団体)、2.監査組織の整備に関する規約の改正、3.活動報告と会計報告、4.活動方針、の3点について審議され、監査組織整備に関する規約改正内容を中心に意見交換が行われました。

(文責：日永 龍彦)

第 9 期理事の選出について

2023年5月30日 理事選出管理委員会

日永 龍彦・上中 良子

大学評価学会規約内規 6. にもとづき、大学評価学会第 9 期理事の「会員からの立候補者ないしは会員 3 名の推薦による立候補者」を受け付けます。

第21回全国大会の際に開催される総会（2024 年 3 月 2 日）の 2 週間前である 2024 年 2 月 16 日（金）までに、書面で下記の理事選出管理委員会まで届け出てください。

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

山梨大学 大学教育・DX推進センター 日永龍彦研究室

大学評価学会理事選出管理委員会

E-mail : thinaga@yamanashi.ac.jp

《内規》

6. 理事の選出にあたっては、会員からの立候補者ないしは会員 3 名の推薦による立候補者および前期理事会の推薦による候補者を、選出管理委員会が総会 2 週間前までに受付し、候補者名簿を作成、総会時に名簿を掲示する。候補者が理事定数を超えた場合は総会時に出席会員による投票を行い、上位者をもって当選者とする。なお、候補者が理事定数内の場合は総会議決(第 21 条)にもとづいて選出するものとする。また、在任期間中に理事が辞任した場合、理事会は補充を行うことができる。ただし、任期は前任者の残任期間とする。

※ 上記と同内容の通知を、大学評価学会のHPにも掲載します。

【大学評価学会の日誌】

2022年2月26日（火） 会計監査、第VIII期第7回理事会
2022年3月3日（土）・4日（日）第20回全国大会（岡山理科大学、ハイブリッド開催）
3月5日（土）第20回会員総会（ ）
2023年3月11日 教育学関連学会連絡協議会第11回総会（日永副代表が出席）
<予定>
2023年9月2日（土） 第VIII期第8回理事会、第64回研究会
2023年11月頃（予定） 第VIII期第9回理事会、第65回研究会
2024年3月2日（土）、3日（日）第21回全国大会（早稲田大学）



学会年会費の請求について

2023年度（2023年3月1日～2024年2月29日）の学会年会費の請求書を同封させていただいております。過年度分が未納の方につきましては、2023年度分とあわせてお支払いいただきますようお願いいたします

編集・発行：大学評価学会（URL: info@aue-web.jp）

〈学会事務局〉 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪公立大学 高等教育研究開発センター 西垣研究室

Tel/Fax:06-6605-2128 E-mail: nishigaki@omu.ac.jp

〈共同事務局〉 〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学 大学院教育発達科学研究科 石井研究室

E-mail: ishii.takuji.n2@f.mail.nagoya-u.ac.jp

〈事務連絡先〉 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

龍谷大学 経営学部 細川研究室

Tel/Fax:075(645)8634 E-mail: hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp

〈会費納入先〉 郵便振替口座番号：00950-4-296005 名称：大学評価学会